

1 自己評価

1 評価結果 (別紙参照)

○あいさつなどの基本的な生活習慣の確立と自己表現力・思いやりの心の育成

- ・あいさつは概ねよくできている。家族内でのあいさつに課題が見られるので、家庭との連携を深めたい。
- ・メディア利用時間に近年課題があり手立てを講じているが成果が乏しい。スマホなどの機器に触れることは日常生活の一部になっていることからこれまで通りの概念では成果は計れない。新たな視点で教育を行っていききたい。

○学習習慣の確立とが学力の向上

- ・教師個々の工夫により、授業づくりには改善の傾向が見られる。
- ・家庭学習の取り組みには個々でばらつきがあるが、主体的に行える手立てをさらに考えたい。時間よりも質を大切にしたい。

○地域への愛着と誇りの育成

- ・義務教育学校になることをきっかけに、地域と学校が協働する機会が増え、それに伴い地域への愛着を感じることに繋がっている。今後は新しい学校に誇りをもてるような取り組みをやっていききたい。

2 学校関係者評価者名

難波哲夫 石井光嘉 秋岡美由紀 青野裕幸 川鱈仁宣

3 学校関係者評価

○あいさつなどの基本的な生活習慣の確立と自己表現力・思いやりの心の育成

- ・自己評価、改善策ともに適切である。
- ・原因を分析して改善に努めてほしい

○学習習慣の確立とが学力の向上

- ・自己評価、改善策ともに適切である。
- ・子どもへの聞き取りをもとに改善策を検討するとよい。
- ・家庭学習時間を問うだけでなく、どれだけ学習を向き合ったかを問う項目もあればよい。

○地域への愛着と誇りの育成

- ・地域の名産や課題を知ることが地域を知ることにつながるだろう。
- ・公民館行事を可能な範囲で行っていききたい。
- ・誰にでもあいさつができる子どもになってほしい。

4 来年度の重点取組 (学校評価を踏まえた今後の方向性)

○あいさつなどの基本的な生活習慣の確立と自己表現力・思いやりの心の育成

- ・保護者や子どもの声を取り入れながら、メディアとの関わり方を検討していききたい。

○学習習慣の確立とが学力の向上

- ・子ども主体の授業づくりを向上させる。
- ・保護者や子どもの声をヒントに家庭学習の持ち方を考えたい。

○地域への愛着と誇りの育成

- ・新しい学校が地域住民の誇りとして永続できるように、地域と協働して教育内容を確立していく。